



平成 29 年度
西山小学校
学校だより



第 47 号
平成 29 年 12 月 18 日(月)
文責：菊地正人

深い雪にも耐え 大空に向かって たましまっすぐ伸びる 西山の杉のような子どもを育てる

町役場見学～町議会傍聴（6 年）

13日(水)に6年生が社会科学習の一環として、町役場の見学と町議会の傍聴を行いました。初めに、ふれあい館と町役場の庁舎内の見学をしました。子どもたちは何度か入ったことのある建物ですが、どのような施設設備でどんな仕事をしているのかを、担当者の方から説明を受けました。その後、町議会の議場に移動し、13日に開会した12月定例議会を傍聴しました。ぴいんと張り詰めた議会の雰囲気を感じながら、議事の様子を真剣な眼差しで見つめていました。最後に議長席をお借りして記念写真を撮りました。現場を見ながら聞きながらの内容で子どもたちにとって有意義な見学学習となりました。



お楽しみ会(3年)

15日(金)に3年のお楽しみ会が催され、職員室にいる先生方が招待され参加しました。3年生は2人ですが、その人数を感じさせない内容で、協力しながら何役もこなして会を進める姿が見られ、とても良かったです。歌と合奏やジェスチャーゲームなどを参加者全員で楽しむことができました。張り切ってやっていた2人が大変印象的でした。ここでも、子どもの成長を強く感じました。



プログラミング教育について

来年度からの新学習指導要領の中から、「道徳や外国語活動(英語)」についてお知らせしましたが、今回は「プログラミング教育」について紹介します。

プログラミング教育とは、子どもたちにコンピュータに意図した処理を行うように指示することができるということを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」などを育成するものです。究極的には、身近な生活の中でコンピュータが活用されていることや問題の解決には必要な手順があることに気づくという学習です。そして、この学習は算数や理科などの教科や総合的な学習をとおして、それぞれ実施することになります。本校では、タブレットやコンピュータを使っでの学習は、日頃の授業の中で進取的に取り組んできていますので、あらためて指導計画を見直し、さらによりよい学習内容を考えていくことになります。

